

○教科に関する専門的事項の修得内容

附表	中学校
教科	科目
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）
	国文学（国文学史を含む。）
	漢文学
	書道（書写を中心とする。）
社会	日本史・外国史
	地理学（地誌を含む。）
	「法律学、政治学」
	「社会学、経済学」
数学	「哲学、倫理学、宗教学」
	代数学
	幾何学
	解析学
	「確率論、統計学」
理科	コンピュータ
	物理学
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）
	化学
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）
	生物学
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）
	地学
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	
音楽	ソルフェージュ
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）
	指揮法
美術	音楽理論・作曲法（編曲法を含む。）・音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）
	絵画（映像メディア表現を含む。）
	彫刻
	デザイン（映像メディア表現を含む。）
保健 体育	工芸
	美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）
	体育実技
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）
	生理学（運動生理学を含む。）
保健	衛生学・公衆衛生学
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）
	生理学・栄養学
技術	衛生学・公衆衛生学
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）
	木材加工（製図及び実習を含む。）
	金属加工（製図及び実習を含む。）
	機械（実習を含む。）
	電気（実習を含む。）
栽培（実習を含む。）	
	情報とコンピュータ（実習を含む。）

※「 」内の科目の修得は、1以上について修得すること。

※ ( ) 付きの科目は、( ) 内の内容を含めて修得すること。

附表	中学校
教科	科目
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）
	被服学（被服製作実習を含む。）
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）
	住居学
	保育学（実習を含む。）
英語 ※ア	英語学
	英語文学
	英語コミュニケーション
	異文化理解

※ 「 」内の科目の修得は、1以上について修得すること。

※ ( ) 付きの科目は、( ) 内の内容を含めて修得すること。

※ 職業、職業指導、宗教については省略

※ア 英語以外の外国語の教科に関する科目の単位の修得方法は、それぞれ英語の場合の例による。

附表	高等学校
教科	科目
国語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）
	国文学（国文学史を含む。）
	漢文学
地理 歴史	日本史
	外国史
	人文地理学・自然地理学
	地誌
公民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」
数学	代数学
	幾何学
	解析学
	「確率論、統計学」
	コンピュータ
理科	物理学
	化学
	生物学
	地学
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」
音楽	ソルフェージュ
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）
	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）
	指揮法
	音楽理論・作曲法（編曲法を含む。）・音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）
美術	絵画（映像メディア表現を含む。）
	彫刻
	デザイン（映像メディア表現を含む。）
	美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）
工芸	図法・製図
	デザイン
	工芸製作（プロダクト制作を含む。）
	工芸理論・デザイン理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。）
書道	書道（書写を含む。）
	書道史
	「書論、鑑賞」
	「国文学、漢文学」
保健 体育	体育実技
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）
	生理学（運動生理学を含む。）
	衛生学・公衆衛生学
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）

※ 「 」内の科目の修得は、1以上について修得すること。

※ ( ) 付きの科目は、( ) 内の内容を含めて修得すること。

附表	高等学校
教科	科目
保健	「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」
	衛生学・公衆衛生学
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）
看護	「生理学、生化学、病理学、微生物学、薬理学」
	看護学（成人看護学、老年看護学及び母子看護学を含む。）
	看護実習
家庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）
	被服学（被服製作実習を含む。）
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）
	住居学（製図を含む。）
	保育学（実習及び家庭看護を含む。）
	家庭電気・家庭機械・情報処理
情報	情報社会・情報倫理
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）
	情報システム（実習を含む。）
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）
	マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）
	情報と職業
福祉 ※ア	社会福祉学（職業指導を含む。）
	高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉
	社会福祉援助技術
	介護理論・介護技術
	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）
	人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解
	加齢に関する理解・障害に関する理解
工業	工業の関係科目
	職業指導
農業	農業の関係科目
	職業指導
英語 ※イ	英語学
	英語文学
	英語コミュニケーション
	異文化理解

※「 」内の科目の修得は、1以上について修得すること。

※（ ）付きの科目は、（ ）内の内容を含めて修得すること。

※ 水産、商船、職業指導及び宗教は省略

※ア 平成26年3月31日までに上記5事項を修得した者は、全ての科目を修得した者とみなす。  
（但し、平成23年度以降大学に入学したものを除く。）

※イ 英語以外の外国語の教科に関する科目の単位の修得方法は、それぞれ英語の場合の例による。